

資料 8－5

液状化対策におけるレベル及び
想定ガル数について

豊洲市場用地における液状化対策について

○対策範囲

敷地全域で、不透水層より上部の液状化すると想定される地層を対象に対策を実施（一部、不透水層下も対策を実施）

○対象の地震（設計レベル）

- ・建物下・・・・・・・・・・・・・・ 中地震（地表最大加速度 200gal）
大地震（地表最大加速度 350gal）
- ・構内道路や駐車場等（建物下以外）・・レベル1地震動
（工学的基盤面最大加速度 144.6gal）

レベル1地震動、レベル2地震動とは・・・

レベル1地震動：「中規模の地震」「構造物の供用期間中に一度以上は発生する可能性が高い地震動」「数10年に一度は発生すると見込まれる地震」「震度5程度」

レベル2地震動：「想定しうる範囲内で、最大規模の地震」「構造物の供用期間中に起こる可能性は低い、過去の記録から考えられる最大規模の地震」「数百年に一度発生すると見込まれる地震」「震度6強程度」

兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）、東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）等

○対策内容

- ・基本的に砂杭（砕石杭、コンクリート杭）による締固め工法

- ★ 豊洲市場用地は、敷地全域で、震度5程度の地震が発生しても、液状化が生じるおそれはない。
- ★ 阪神淡路大震災レベルの大地震が発生しても、建物下は、液状化が生じる可能性は低い。
- ★ 阪神淡路大震災レベルの大地震が発生した場合に、構内道路や駐車場等に噴砂・噴水が生じるおそれがあるのか等については、市場問題 PT において検証していただく予定

地盤改良範囲図

